

組付要領書及び部品表

Takakita

バキューム力用油圧開閉装置

S-3102-U

適応機種	S-1432
	S-1802
	S-2402
	S-3102



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**バキューム力用油圧開閉装置**の組付要領について記載しております。

組付前には必ず、この組付要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはブレンドキャスト本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。



警 告 サ イ ン



印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

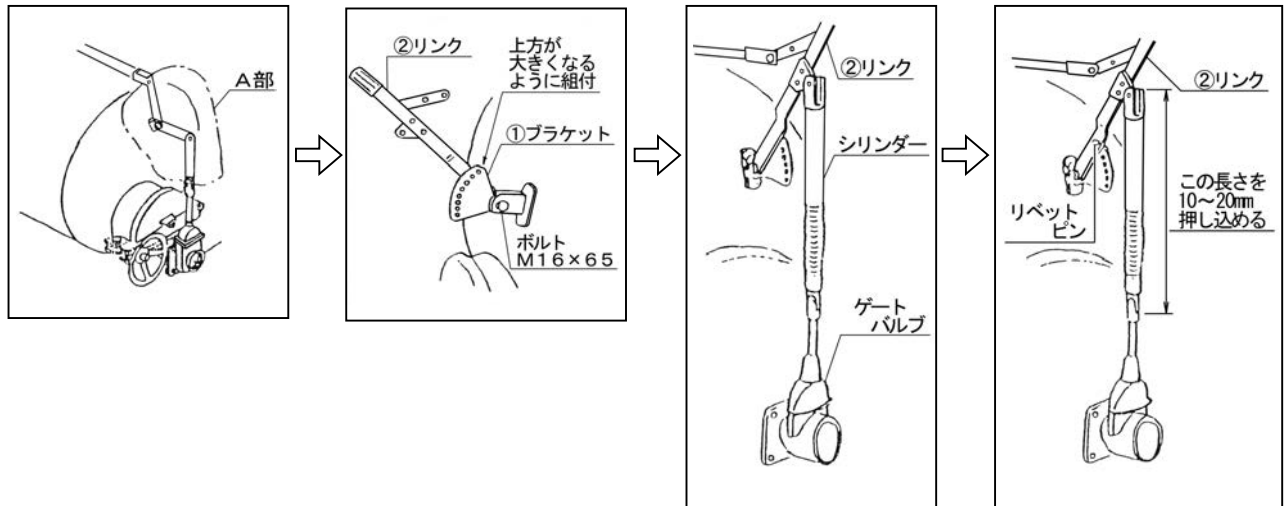
注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

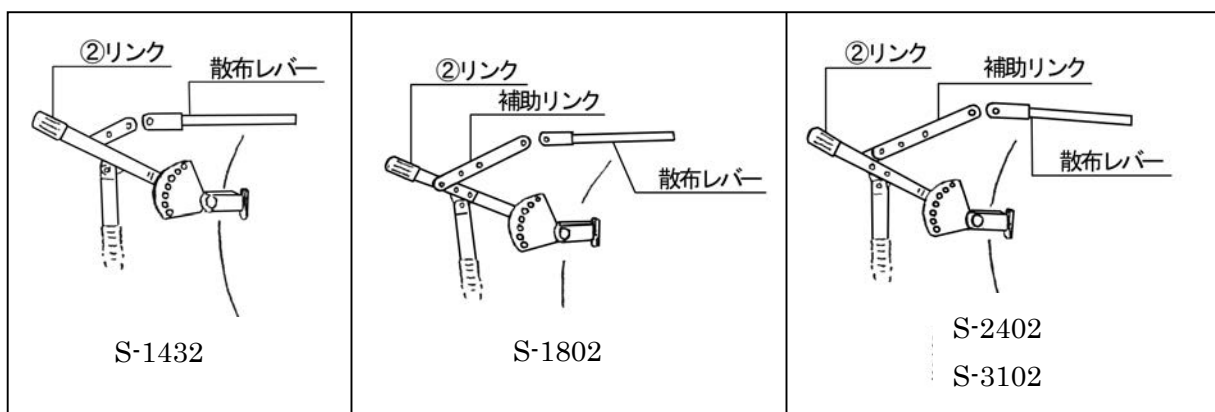
油圧開閉装置の組付け

1. 油圧シリンダーの組付け

- [1] 後部のゲートバルブ開閉リンク部(A部)を取り外します。
この際、ボルト、リベットピン類は油圧開閉装置の組付けに使用しますので、無くさないように注意してください。
- [2] バキュームカ後部のリンク支点部に①ブラケットおよび②リンクを本体から取り出したボルト(M16×65)、ナット(M16)、サラバネ(M16)を使用して組付けます。
- [3] 油圧シリンダーをゲートバルブと②リンクに接続します。



- [4] 油圧シリンダーを10～20mm縮めるように②リンクを押し込んでから、①ブラケットの穴にリベットピンを用いて固定します。
散布レバーと②リンクとの接続は、機種によって異なります。
S-1802、S-2402、S-3102は補助リンクを用いて接続してください。



注意

油圧シリンダーは、必ず10～20mm押し込んでください。

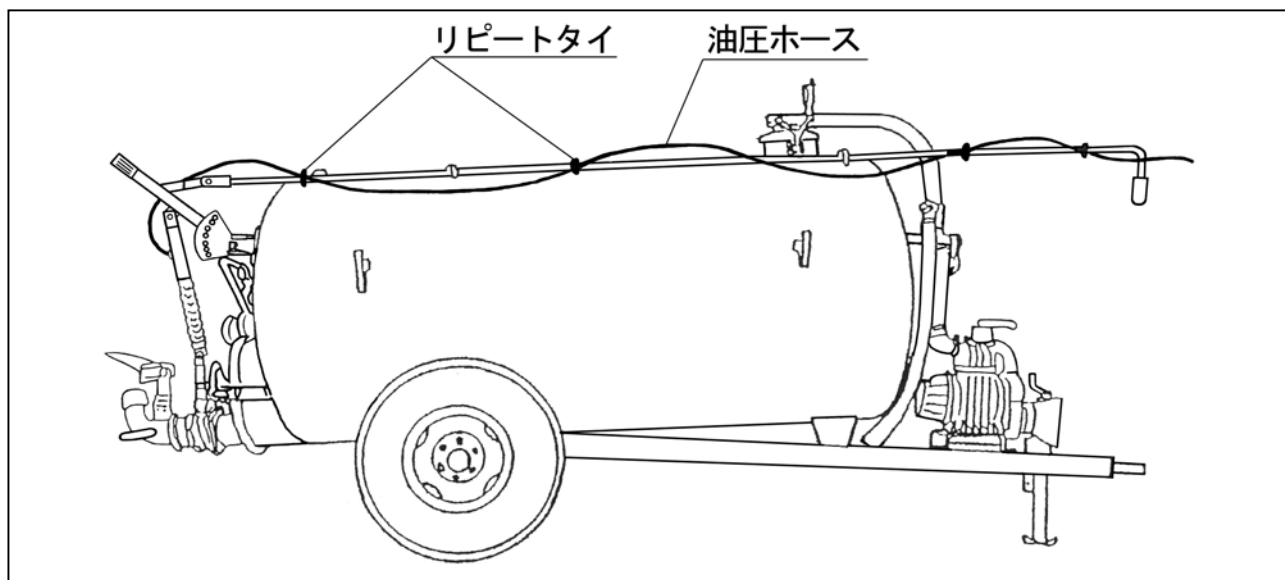
(シリンダー穴間寸法540～535mm)

そうしないとゲートバルブが十分に閉まらないため、尿が漏れたり、全開になっても油圧シリンダーで無理に引っ張るため、ゲートバルブ故障の原因となります。

油圧開閉装置の組付け

2. ホースの取付け

油圧ホースは、回転軸や車輪と接触しないように付属のリピータイで固定してください。
注) 電気配線と共締めはしないでください。



3. 使用方法

油圧開閉操作

・・・リベットピンを固定する

手動開閉操作

・・・リベットピンをはずす

